

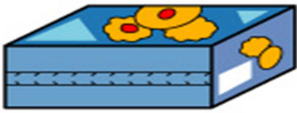
雑がみチャレンジはじめませんか



廿日市の家庭から出る燃やせるごみの中には、資源ごみとして出すことができる雑がみが、約10%混ざってしまっています。これは一人あたり年間16kgにもなります。ちょっと分かりにくいし、ちょっと手間がかかる。でも、きちんと分別するとかなりすっきり。雑がみを資源ごみとして出してみましょう。

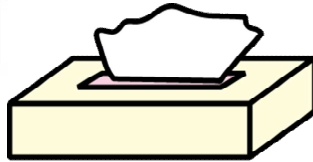
こんなものが雑がみです（代表的なもの）

☆食品・日用品の紙箱



☆ティッシュの箱

ビニールを取る
ティッシュは燃やせるごみ



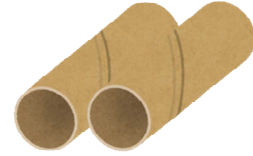
☆封筒・はがき

セロハンは取って
燃やせるごみへ



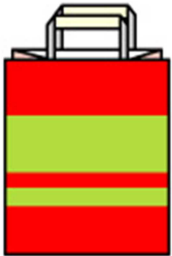
☆トイレットペーパー・ラップの芯

つぶして平らにして



☆紙袋

ビニール・金具は
取り外して



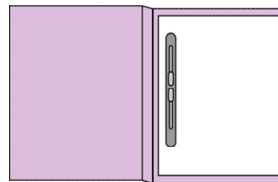
☆包装紙

セロハンテープは
外して



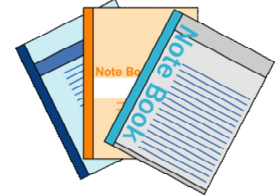
☆紙ファイル

留め具は取り外して



☆ノート・コピー用紙

リングノートは
リングを外して



☆タウン誌・ チラシ・パンフレット



☆ポスター・カレンダー

金具の部分は取り外して

☆ビール(6缶パック) の紙ケース

☆画用紙、シャツなど の台紙

つぶしたり、ビニールや金具を外したりと、ちょっと手間がかかるけど、やってみると意外と楽しいよ！

下の「混ぜると資源化できないもの」が混ざってしまうと、きちんと分別したのも資源化できなくなってしまうので注意してね！



混ぜると資源化できないもの

- ★感熱紙（レシート、ファックス用紙など）
- ★防水加工紙（紙コップなど）
- ★写真
- ★ビニールコート紙（圧着はがきなど）
- ★金紙・銀紙（折り紙、ガムやタバコの銀紙など）
- ★捺染紙（なっせんし）（アイソプリット紙、靴やかばんの詰め物など）
- ★カーボン紙・ノーカーボン紙（宅配便の送り状、複写式の書類など）
- ★においのついた紙（洗剤、せっけん、お線香の箱など）
- ★油や汚れのついた紙（ピザの箱、紙おむつ、ティッシュなど）



雑がみの出し方

- 雑がみだけをひもで十字にしばって出すか、少量の場合は雑誌にはさんで出してください。
- 小さいものは封筒などに入れておくと、出しやすくなります。
- 封筒、はがき、ノートなど、個人情報が含まれるようなものを出すときは、**個人情報**はできるだけ除いてください。

